

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4632
26年3月27日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

3月19日、全国15職場で 抗議と怒りのストライキ突入

おはようございます。
「春に3日の晴れなし」ということわざがある通り、この時期は雨が多く、来週は曇りや雨の予報が続いています。集配の職場は、雨が降れば作業効率が悪くなり、疲労も増大します。早いもので来週には新年度になります。本格的な減区が提案された新年度は不安なスタートになりそうです。

26春闘では大手企業で満額回答が続き大きく報道されました。しかし日本郵政グループは満額回答どころか組合要求とかけ離れた低額回答を示してきました。この間の交渉は未来にも掲載しましたが、郵政ユニオンは特に非正規社員の賃上げで「10月の最賃待ち」ではなく、4月段階での時給引上げを含めた処遇改善を強く求めました。

26春闘では有期契約など非正規労働者の時給は84.51円上がり、平均賃上げ率が6.89%と、集中回答日直後の初回集計として過去最高だとの報道がされています。しかし日本郵政グループは今回の回答でも「基本給は地域別最低賃金の上昇を反映して上がる仕組み」としていわゆる「10月の最賃待ち」という回答で、4月段階での時給引上げを回答しませんでした。グループ全体で16万人の非正規社員を雇用している企業として、4月段階での時給引上げを要求に応えていないことについて、極めて不満と強く抗議しています。



この非正規社員に対するゼロ回答及び、正社員に対する低額回答を不服として、郵政ユニオンは3月19日全国15職場

でストライキに突入しました。
このストライキでは、全国の郵政ユニオンの仲間が早朝から拠点集会や宣伝行動に取り組みました。九州地本でも、福岡中央局、北九州中央局でストライキ集会が開催され長中局支部からもストライキに入った佐田副支部長を含む3名が支援行動に参加しました。



福岡中央局前

福岡中央郵便局前で朝の宣伝行動の後、集会を行いました。約40名がかけつけ、日本共産党や福岡県労連など共闘団体の支援を受けながら成功させました。

佐田副支部長も発言し、「ほぼ2人に1人が非正規です。同じ職場で、同じ責任を担い、現場を支えているのに、不安定雇

用と格差があるのはおかしい。」と訴えました。最後に米地九地本委員長の団結ガンバローで集会を締め括りました。



北九州中央局前

北九州中央郵便局にてストライキ突入集会を開催しました。

松野九地本執行委員と佐田副支部長がストライキの決意表明を行い、黒田執行委員がストライキ宣言を読み上げました。その後向井書記長が連帯の挨拶と26春闘の交渉状況を説明しました。支援者からは、山坂がきつなくても、雨の日も風が強い日も職場を支えているのは配達員です。雇用形態に関係なく全ての労働者が安心して働ける賃金水準を求めます。皆さんのたたかいから勇気をもらっている、と激励

の言葉をいただきました。最後は、今年度で退職になる松野九地本執行委員の主導で力強いシユプレヒコールを行いました。

長崎中央局前

長中局支部では、全国でストライキに入る仲間との連帯行動として本部作成の「ストライキビラ」の配布を行いました。前日の雨から天気も回復し、7時15分から執行委員を中心に社員通用口前と駐車場入り口の2か所で配布しました。

福岡中央局前での集会の様子は、しんぶん赤旗に大きく掲載され反響を呼びました。
また今回のストライキ集会では、神戸北郵便局前と広島中央局前での集会の様子がユーチューブで動画がアップされています。ご視聴下さい。
改善要求の声を上げなければ職場は悪くなるばかりです。郵政ユニオンは春闘だけでなく、労働条件改善に向け各職場で声を上げ続けます。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。ゆめが、均等待遇。なげん差別。

